

# 園と家庭をむすぶ げんま No.213

発行 エイデル研究所

定価 1100 円 (本体 1000 円+税 10%)

2026 年 1 月 25 日発行

ISBN978-4-87168-734-8



特集

## こども誰でも通園制度 ～本格実施に向けて～

「こども誰でも通園制度」は、親の就労に関係なく 0 歳 6 ヶ月～満 3 歳未満の子どもが、時間単位で保育所などに通える新たな子育て支援制度です。2026 年 4 月から全国で本格実施が予定されています。一時預かりとは違い、週 2 日など短時間でも発達を見据えた“本物の保育”を行い、集団の中で遊ぶことで、子どもの発達を促すとともに、保護者が子育てに前向きに取り組むことなどが期待されています。

### 「こども誰でも通園制度」の理念と未来型保育の必要性 汐見 稔幸

汐見先生が語る「こども誰でも通園制度」。親の就労に関係なく、すべての子どもに“本物の保育”を保障し、保育を子どもの権利へと転換していくための社会づくりの第一歩であるとの想いを紹介。

### 「こども誰でも通園制度」の実際① —子どもと保護者のためになる制度を目指して 学校法人 thanka 加藤 裕希、嶋根 萌絵

一時預かり事業とのハイブリットで運用。園と行政が課題を共有しながら、“すべての子どもの権利”として育てていく事例を紹介。

### 「こども誰でも通園制度」の実際② —切れ目のない支援の一環として

社会福祉法人芳美会 花の木保育園 齋藤 祐善、柴田 有紀

週 2 回のテーマ型保育で「誰通」を試行する花の木保育園。子どもと家庭の変化を実感しながら、制度の課題と向き合い、地域に根ざした新しい子育て支援モデルを紹介。

#### バックナンバー好評発売中

No. 212 『保育と街のミスコラーレ～「まちの居場所」としての保育園』

No. 211 『園の防災をアップデート』

No. 210 『おはなしから生まれる心の育ち』

No. 209 『保育者が働きやすい職場づくり』

No. 208 『特別な配慮が必要な子どもの受け入れと合理的配慮』

No. 207 『園の落ち着きと音環境』

No. 206 『保育現場にエシカルな心を』

No. 205 『子育てで大切なことを保護者にどう伝えるか』

No. 204 『生き物ってこんなに面白い』

No. 203 『主体性とは何か？—保育場面における主体性の捉え方』

No. 202 『「発達障害」が疑われる子どもへの対応』

ご注文は、お近くの書店・販売店へ

エイデル研究所

〒102-0073 東京都千代田区九段北4-1-9  
TEL.03-3234-4641 FAX.03-3234-4644

注文書	取扱店	213号 注文数	バックナンバー	注文数
		部		号 部
	氏名/団体名			
	住所 〒			
TEL				